

福祉のひろば

2025.2
75

「福祉のひろば」へのご意見募集中!



アンケート入力フォームから広報紙へのご意見をぜひお寄せください!
記事の感想や掲載してほしいことなどみなさまの声をお待ちしています!

青森県社協ウェブサイト

「福祉ネットあomorい」はこちら →
URL <https://aosyakyo.or.jp/>



P2-3 特集

進む!介護現場の生産性向上の取組み ～働きやすい職場づくりへの挑戦～

本会の「あomorい介護生産性向上相談センター」では、介護現場の「生産性向上(=業務改善)」の取組みを支援しています。県内で生産性向上に取り組んでいる2つの事業所をご紹介します。

P5 **ボランティア活動情報** 県内で活動している子ども食堂やみんなの居場所をご紹介します!
子ども食堂スマイル・カフェ(青森市)



P6-7 **発信!県社協** 県社協が取り組んでいる活動をご紹介します!

- ・めざせ!スーパー保育者!!わくわく研修
- ・福祉サービス事業所等における苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員向け研修
- ・「青森しあわせネットワーク」へのご協力を

P9 **福祉の担い手に聞く!** 福祉の現場で働く方に福祉職の魅力についてお聞きしました!

ふくしワークLINE 福祉・保育の仕事に興味のある方、福祉職・保育職の方に向けた情報をお知らせ!

- ・保育のお仕事出張相談会Part2開催!! 参加費無料・事前申込不要
- ・「福祉・保育の仕事一日移動相談」～相談会場で不安・疑問の解消を～



P10 **みなさまの善意に感謝!** 県社協への寄附や善意銀行への預託、寄附金の使われ方をご紹介します!

P11 **スポットライト** 福祉の現場で活躍している方をご紹介します!

無料低額宿泊所 暮らしサポートセンター・三沢

施設長(管理者) 佐々木百子さん・相談支援員 小原 康明さん・ソーシャルワーカー 中川れい子さん

P12 **県社協から** アーティストGOMAさんとのコラボレーション!

進む！介護現場の生産性向上の取組み ～働きやすい職場づくりへの挑戦～



人口が減り、働き手も減る。介護人材不足が深刻となる中、介護サービスの需要は今後さらに高まることを見込まれています。働き手が確実に減る中で、質の高い介護サービスを提供し続ける。この難しい課題にどう向き合い、どう乗り越えていくのか。

本会の「あおり介護生産性向上相談センター」では、こうした課題に対応するため、介護現場の「生産性向上（＝業務改善）」の取組みを支援しています。介護テクノロジー導入をはじめとする様々なご相談に応じながら、介護サービスの質の向上と働きやすい職場づくりを推進しています。今回の特集では、県内施設での取組みをご紹介します。

取組みの先を見据える

特別養護老人ホーム寿幸園（青森市）では、介護記録ソフトやコミュニケーションロボットなど多様なテクノロジーを導入しています。特にAIを搭載した見守りセンサーでは、利用者のプライバシーに配慮したシルエット画面で生活の安全を見守り、生体センサーにより呼吸・体動の異常も検知します。この導入により過剰な訪室がなくなり、特に夜勤では1日96分も巡回時間が短縮し、職員の負担軽減と業務効率化につながりました。

夜勤時の巡回時間

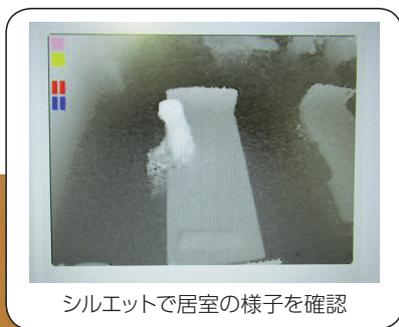
96分／日

584時間／年 短縮！



訪室回数の減少で
利用者も安眠

寿幸園調べ



シルエットで居室の様子を確認



スマートフォンの画面で見守りを行う及川さん

しかし、テクノロジーの導入がすぐに業務改善の成果につながったわけではありません。新しい機器の導入は操作方法を習得することなどに時間を要し、一時的に効率が低下することが知られています。

ICT推進チーム委員長としてこのプロジェクトを推進した介護主任の及川和さんは、導入時に思った成果が得られなかった理由について「操作を覚えることに専念し、目的や導入の先に何があるかを見せられなかったこと」と振り返ります。

寿幸園で見守りセンサーを全室に導入してから3年が経過し、目的・効果の共有、評価を繰り返すことにより、「効果が園内全体に浸透した」と及川さんをはじめとする職員の多くが実感しています。

III

★ 新しい機器の導入⇒現場の負担大
だからこそ

目的 効果

途中経過 振り返り

チームで共有

及川さんは「業務改善に大切なのは先に何があるかを見据えることです。失敗もありますが、皆で振り返りながら考えていくことが大切だと感じています。私たちの考える生産性向上は、業務を見直し、効率化を図って利用者の暮らしをよりよくしていくこと。今後もチームで情報を共有しながら生産性の向上に取り組んでいきたいです」と話してくれました。

整理整頓から「良い施設」を目指す取組み

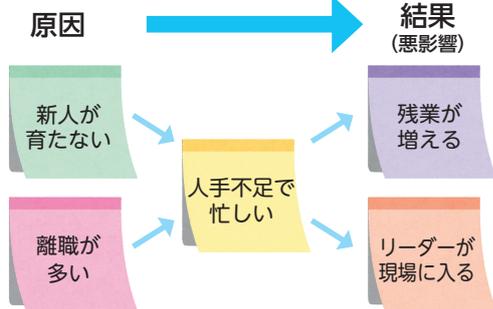
特別養護老人ホームなのはな苑（横浜町）は、多様なテクノロジーの導入、介護助手や外国人材の活用など果敢に取組みを進めています。しかし人材不足を背景に「思った以上に利用者と接する時間が取れない」ことにジレンマを感じ、改めてプロジェクトチームを立ち上げ、厚生労働省の「生産性向上に資するガイドライン」を参考に生産性の向上に取り組んでいます。

改善活動の手順とポイント

- 手順1 改善活動の準備をしよう
 - 手順2 現場の課題を見える化しよう
 - 手順3 実行計画を立てよう
 - 手順4 改善活動に取り組もう
 - 手順5 改善活動を振り返ろう
 - 手順6 実行計画を練り直そう
- ～生産性向上に資するガイドラインより～

なのはな苑では「課題を見える化する」ため、職員から「日頃感じている疑問」や「解決したいこと」などの「気づき」を自由に出してもらい、「気づき」の因果関係を整理しました。

因果関係図（例）

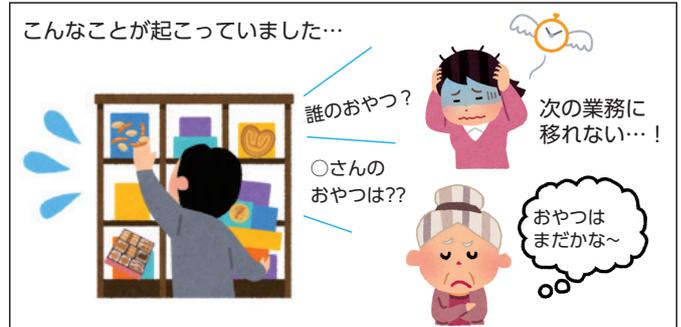


プロジェクトチームが中心となって課題を整理

検討の結果、今回取組むことに決めたテーマは「利用者のおやつ置場の整理整頓」です。おやつ置場が常に雑然としていることで、様々なことに悪影響を及ぼしていることが分かりました。



どこに誰の何ががあるのか分からないおやつ置場



チームリーダーの林伸一さんは、今回の課題抽出は取組みの大きな一歩になったと評価しています。さらに解決策を検討していく過程で、整理整頓の手順や役割分担の明確化の問題、おやつ提供についての申送りが徹底されていないなど、情報共有にも課題があることが顕在化しました。

「普段は直接的介護の大きな課題に目が行きがちですが、改めて職員と対話し、おやつ置場の整理について皆が気になっていたことが分かりました。最初はおやつ置場の整理からスタートしましたが、様々な課題とつながっていることが分かり、広がりをもって、職場自体を良くしていけそうです」と振り返る林さん。

利用者にも職員にも「良い施設」になることを目指す業務改善の取組みは続いています。

ご相談はあおり介護生産性向上相談センターへ

TEL 017-777-0012

厚生労働省では、介護現場の生産性向上を「業務改善により職員の負担軽減を図ると共に、介護サービスの質の向上につなげていくこと」と定義づけています。当センターでは、生産性向上の具体的な取組手法など各種相談に応じているほか、テクノロジーの常設展示、機器の試用貸出なども行っています。まずは最初の一步を踏み出してみませんか？



あおり介護
生産性向上
相談センターHP

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ボランティア活動情報



青森市「子ども食堂スマイル・カフェ」

★どんなときもスマイル★

青森市にある「子ども食堂スマイル・カフェ」。運営する澁谷さんは、「こどもたちが笑顔でいられるように、その笑顔を守っていきたい。笑顔でいられない状況がいっぱいあるなかで、笑うだけでなく泣いてもいいし辛いこともなんでも自由に言える場所にしたい。

途中泣いても怒っても最後は「スマイル」という思いを込めて「スマイル・カフェ」と名付け令和5年11月中旬から活動を始めました。



★教会での子ども食堂★

毎月1回、教会で子ども食堂を開催しているスマイル・カフェは、コロナ前はこどもが遊べる場所や子育て中のお母さんの居場所もありましたがコロナの影響もありどんどん居場所がなくなっていき、教会を居場所として提供したのがきっかけでした。澁谷さんは「場所を貸すだけでなく話を聞いたりご飯を食べたりゆっくり時間を持つことでもっと何かできるのではないか」と思うようになったそうです。



★気づき・助け合える場所★

澁谷さんは「塾に行けない子に勉強を教えたり等、食事以外の色々な事に気づく・知れる場所になりました。主婦や留学生がボランティアで協力してくれており、主婦の方は子育てが落ち着き、時間があるからと子どもたちのために何かできたらという思いで来てくれたり、留学生は友達が出来たりと交流の場にもなっています。困っていることがあればみんなで助け合える場所にしたい」と話してくださいました。

★これからの一歩★

「毎週日曜日の夜にユースカフェ（中・高校生・大学生）を開催、長期休みには学習支援、また英会話教室も開催しています。自分の家や自分のことだけでなく、他の人たちにも目を向け、社会に貢献できる大人になってもらいたい、成長していくために学べる場所を目指したい。いつかシニアカフェも開催したい」と澁谷さんは熱意を語ってくれました。

- 毎月第3土曜日12:00~14:00
- 青森ジョイフルチャペル（青森市新田1-12-13）
- 子どもから高齢者までどなたでも参加可能。
原則予約制。飛び込みも受入可だが連絡は必要。
- 小学生以下無料、中高生100円、大人300円
- 連絡先 090-6452-8068（澁谷真衣さん）

がんをきむ
病気やケガの備えに

—月額保障×サービスでつくる—
新しい形の医療保険
REASON

心配な「がん」の備えに

●契約年齢
0歳～
満85歳まで
※ご契約内容により異なります。

「生きるを創る
がん保険
WINGS

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉（アフラックは代理店制度を採用しています）

株式会社RAB企画 ☎0120-55-7064 ☎017-739-3598
〒030-0113 青森市第二間屋町3丁目2-35

●アフラックサービスショップ青森柳町店	〒030-0861 青森市長島2-25-4	☎017-721-3151
●八戸支店	〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F	☎0178-43-8610
●弘前支店	〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F	☎0172-35-1881
●むつ支店	〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8	☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。 **アフラック**
青森支社
〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFアツ課-2024-0244-2407009 5月10日



実施
しました

めざせ！スーパー保育者!! わくわく研修

令和6年11月5日にリンクステーションホール青森で、青森県保育連合会と共催により「めざせ！スーパー保育者!!わくわく研修」を開催しました。参加した34人の保育士は、アサーションコミュニケーションや保育現場での重大事故を防ぐためのヒヤリハットを学習したほか、県外講師「ぼくときみ。」さまのリードで歌遊びや手遊びの実技を行いました。



あそび歌に合わせ、からだ全体を使った表現に挑戦!!



「事故ば「起きるかも」の意識をもつことが重要」と講師が強調しました

参加者から「実際に取り入れたいと思えるものがたくさんあり、子どもたちと楽しく活動できそうだった」「自分自身も楽しめたので、園でも早速実践していきたい」といった感想が聞かれ、日々の保育に役立てる学びとなりました。

青森県
保育士人材バンク



事業
紹介

「青森しあわせネットワーク」 へのご協力を



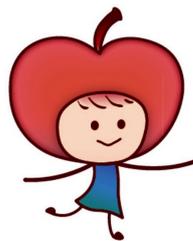
「青森しあわせネットワーク」は、制度の狭間で困っている人に、経済的援助から就労支援、居場所づくりまで幅広い支援を行っています。

公的な制度では救われないために苦しんでいる人は青森県にもいますが、「今日食べる物が無い」と相談しても、その日に食べ物を支援することは、制度の中では困難であり、我慢してもらおうか待ってもらおうしかありません。

公的な制度を利用するには、自ら声を上げたり、勇気と行動力のある支援者の目に止まらなければ、相談や支援には結びつきません。「声なき声」や自ら SOS を発せられない人への支援は、柔軟な民間活動こそが求められているのです。

2017年より、制度の狭間の支援を行う「青森しあわせネットワーク」で、経済的援助や就労体験の場の提供、こどもの居場所づくり支援のための研修や情報交換を実施しています。青森県内の1909世帯の40,811,537円分の現物給付による食料支援等を行っています。生活にお困りの方に緊急一時的な支援を行い、生活再建に向けた具体的な支援を行っています。

居場所づくりやフードバンク、居住支援法人としての活動など、生活の困りごとに幅広く、柔軟に、即応することをモットーとしています。



社会福祉法人の皆さまには、参画という形で、資金や運営でご支援いただく方法があります。

それ以外の方々には、お金や物資の提供によりご支援いただくことができます。

青森しあわせネットワーク
へのご寄附はこちらから➡
皆さまのご協力をお待ちしております！



掲載している活動について詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 ● メール：fukushi-net-aomori@aosyakyo.or.jp
● 電話：017-723-1391 ● FAX：017-723-1394

県社協HPに
最新情報
公開中! ➡



福祉サービス事業所等における苦情受付担当者、 苦情解決責任者、第三者委員向け研修

利用者さんや保護者さんを真ん中におくことを意識しながらグループ内で考えてみてください。

令和6年10月2日(水)～4日(金)の3日間にわたり東奥日報新町ビルで、青森県運営適正化委員会主催による「福祉サービス苦情解決関係者等研修会」を開催しました。

参加者385人(第三者委員等の動画視聴含む)は、動画講演や事例検討を通じて、苦情受付の心構えとポイント、苦情解決の流れやプロセスを学びました。

参加者から「日々の苦情解決に役立てそうで勉強になった」、「苦情解決についての対応の幅が広がった」、「グループワークで楽しく検討できた」という感想が聞かれ、今後の事業所等における苦情解決での取組み強化の一助となった研修会でした。



苦情はあって当たり前、無駄なことは何ひとつない。お互いのコミュニケーションが大切です。

苦情解決についてどこに視点を置くのかで考え方が違います。様々な視点から何が主訴なのか考えてください。



100年先もお客さまとともに あり続けるために

保険を通じて皆さまの「挑戦」を支え、地域とともに成長します

＜青森県社会福祉協議会 集団扱い保険制度 取扱代理店＞

MS&AD 三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社

【本社】東京 【青森県内拠点】 青森支店 八戸支店 弘前支店 むつ支店

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社は MS&ADインシュアランスグループの一員としてSDGsに取り組んでいます。

補助金で設備改修しませんか？

災害対策補助金

脱炭素大規模改修補助金



3/4～10/10補助



1/3～3/4補助

当協会は非営利団体の為、現地調査から申請書作成まで無償としており、また、社会福祉連携推進法人への加盟支援も行っております。

※上記補助金は施設用途によって補助率が異なります。



一般社団法人 東北再生可能エネルギー協会

【本 部】 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目4-25 シティタワー10F

TEL 022-794-7040

【青森支部】 青森県弘前市大字高田1丁目5-10

TEL 0172-55-7006

【福島支部・岩手支部・山形支部・栃木支部・関東支部】



福祉に関わる皆様へ
ドライバーにもしもの時の安心を



自動車総合共済

- 5% 福祉施設職員割引
- 3% 福祉車両割引
- 10% 福祉施設割引
- 10% 障がい者割引

県火災あomorい

青森市新町2丁目8-26 TEL:017-777-8111 (青森本部)



Next innovation

会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社/青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型)
保険料

+

【見舞費用加算】
 定員1名あたり
 入所: 1,300円
 通所: 1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

福祉の担い手に聞く!

福祉の現場で働く方に
福祉職の魅力についてお聞きしました!



50代からの学びなおしと挑戦

—田澤さんが切り開く保育士の道—

新たな挑戦として50代で保育士資格を取得し、現在はサムエル保育園の保育士として活躍している田澤京子さんにお話を伺いました。

田澤さんは元々関東出身で、結婚を機に旧岩木町（現弘前市）へ転居しました。嫁ぎ先がりんご農家ということもあり、農作業を手伝いながら、塾スタッフとして子どもたちに勉強を教える生活を長年続けてきました。塾で働く中で、子育て中の方々の苦勞を間近で見聞きし、「子育て中の方々の力になりたい」「社会に恩返しをしたい」という思いが芽生え、55歳のときに保育士になることを決意。通信教育を利用して勉強を始めました。「家事や塾スタッフの仕事と両立しながらの勉強は大変でした」と当時を振り返ります。

多忙な中「1日10分を5回」という目標で毎日勉強を続け、筆記と実技がある保育士試験を突破し、保育士資格を取得しました。

田澤さんは「子どもたちが生活習慣や日常的なルールを身に付けられるよう支援していくことが大切だと感じています。些細な行動も真似する子どもたちのお手本となることを心がけ、笑顔で明るく接しています。日々の小さな喜びを積み重ね、やがて社会に子どもたちを送り出す役割が保育士の大きな魅力です」と職場での気づきや仕事のやりがいについて話してくれました。



「今後も子育て中の方々に少しでも助けたいです」と言葉に力を込める田澤さんは、幼稚園教諭の資格取得も視野に入れ、新たな挑戦を続けています。

ふくしワークLINE

福祉・保育の仕事に興味のある方、福祉職・保育職の方に向けた情報をお知らせ!



保育のお仕事出張相談会Part 2 開催!!

参加費無料・事前申込不要

保育分野に関する就職相談及び求人情報を提供する機会として、下記の日程で出張相談会を開催します。

3月は新年度に向けて新規求人が増加する時期です。お近くの会場にぜひお越しください。

【開催日程】

日付・時間	会場
3月5日(水) 10時～13時	青森市 「ラ・セラ東バイパスショッピングセンター」 1階 ケンタッキー横
3月11日(火) 10時～13時	八戸市 「ラピア」1階 ファッションストリート 入口前イベントスペース
3月18日(火) 11時～14時	むつ市 「むつ来さまい館」1階 会議室

詳しくは下記二次元コードからHP「青森県保育士人材バンク」の「研修・お知らせ」をご覧ください。来場できない方には、HPから求職登録をしていただければ、求人やイベントの情報を提供いたします。

【問合先】青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-718-2225



「福祉・保育の仕事一日移動相談」

～相談会場で不安・疑問の解消を～

青森県福祉人材センターでは、多くの方が福祉の仕事の内容や求人、質問や不安なことなどの相談ができるよう移動相談を開催しています。

主な相談内容

「福祉の仕事に興味があるが仕事内容が分からない」
「福祉の仕事はどんな施設があるか」
「子どもが小さいので働き方に制約があり不安」
「見学や職場体験ができるか」など



福祉の仕事は無資格・未経験でも就職が可能で、働きながらキャリアアップもできます。福祉の仕事に興味のある方は、ぜひ当センターにご相談ください。

【問合先】青森県福祉人材センター

電話：017-777-0012

みなさまの善意に感謝！

令和6年10月～12月分 寄附・預託のご紹介



青森県善意銀行 ～福祉施設や団体への寄附の調整～

青森県善意銀行は、みなさまの『まごころ』という善意をお預かりして、高齢者福祉・児童福祉・障がい者福祉・地域福祉などの“かけ橋”となることを目的に、1963年に発足しました。

みんなが笑顔に満ちた地域となることを願い、県民・企業・団体から寄せられた善意（金銭、物品、技術など）を地域の社会福祉のために役立させております。

■善意銀行の流れ



■預託（寄附）の種類

- (1) 金銭預託（所得税法及び法人税法上の優遇措置あり）
- (2) 物品預託（但し、中古品を除く）
- (3) 招待預託 (4) 技術預託 (5) 食品預託

■お問い合わせ

社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 青森県ボランティア・市民活動センター
〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ2階
TEL：017-723-1391 FAX：017-723-1394

ご不明点等ございましたら下記までご連絡ください！



誰でも心の奥底には、ともに生きる地域の中で「人のために何かをしたい」「世の中の役に立つことをしたい」という善意の心を持っているのではないのでしょうか。

このような善意をどのように活かしたらよいかかわからない、ささやかだからと思い善意の気持ちが埋もれている、そんなことはありませんか？

青森県善意銀行は、あなたの温かい『善意』をお待ちしております。



車椅子贈呈式の様子

● 青森県社協への寄附

青森県社協が実施する事業や福祉団体への支援等に役立てるための寄附をいただきました

寄附者名（敬称略）	寄附内容
ガイドードリンコ株式会社	14,041円
富士電機(株)J-MOXゴルフコンペ	70,000円
公認会計士・税理士 小野寺高事務所	40,824円
青森県ターゲット・パードゴルフ協会	37,000円
匿名の個人（3名）	70,000円
藤イベント企画 代表 藤はじめ	車椅子1台

青森県社協HPの寄附ページはこちら



青森県ボランティア・市民活動センターのfacebookはこちら



あomorifoodbankのHPはこちら



本会への寄附は、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置を受けることができます。

● 青森県善意銀行への預託

善意銀行を通して福祉施設や団体に金銭や物品等の寄附をいただきました

預託者名（敬称略）	預託内容	預託者名（敬称略）	預託内容
一般社団法人生命保険協会 青森県協会	福祉巡回車1台、車椅子10台	青森県火災共済協同組合	車椅子7台
青森県原子力関係労組懇話会	図書カード40枚	青森県信用組合	未使用切手2枚、使用済み切手3.2g、未使用はがき41枚、書き損じはがき60枚
アフラック青森県アソシエイツ会	車椅子2台		

● あomorifoodbankへの寄附

29者44件2,980kgの食品の寄附をいただきました

寄附者名（敬称略）	寄附者名（敬称略）	寄附者名（敬称略）
株式会社北日本吉野家	日新製糖株式会社	株式会社ローソン
みちのくコココーラボトリング株式会社	有限会社中里エアサービス	株式会社青森みちのく銀行
株式会社モリレイ	株式会社みちのくクボタ青森事業所	株式会社青洋建設
青森空港ビル株式会社	公益社団法人日本非常食推進機構	株式会社NTT東日本 青森支店
株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	株式会社日野ヒューテック	株式会社カネマツ青森オフィス
青森保健生活協同組合	キューピーみらいたまご財団	一般社団法人 全国食支援活動協力会
ファミリーマートあomoripio前店	青い森信用金庫	県社協フードドライブ
青森県民生活協同組合	かねさ株式会社	匿名の個人（4名）
公益社団法人青森県トラック協会 女性協議会	損害保険ジャパン株式会社青森支店	

スポットライト



無料低額宿泊所 暮らしサポートセンター・三沢で
相談員として生活困窮者等の自立に向けて支援を
している

施設長（管理者） 佐々木百子さん（写真右）、
相談支援員 小原 康明さん（写真中央）、
ソーシャルワーカー 中川れい子さん（写真左）
にスポットライト！



無料低額宿泊所とは？

社会福祉法第2条第3項に定める第2種社会福祉事業のうち、「生計困難者のために、無料又は低額な料金で簡易住宅を貸し付け、又は宿泊所その他施設を利用させる事業」に基づき、設置される施設です。

暮らしサポートセンター・三沢はどんなところ

令和4年6月1日に三沢市に開設しました。

7名定員で入所期間は最長で1年間となっています。受入れの基準としては施設で自立した生活ができることです。衣食住を提供するほか、必要に応じて金銭管理を行っています。入所中から自立に向けた就労支援を行い、福祉施設やアパートなど、退所後の帰住先の調整も行っています。1階が男性専用フロア、2階が女性専用フロアとなっていて、玄関も別々の作りになっています。

佐々木施設長は「当法人が実施する居住支援法人と連携しながら、住まいを失った方々に安心して生活してほしい、また、次のステップに向けて準備をしてほしい」と話してくれました。



無料低額宿泊所を開設した経緯

中川さんは「楽晴会では車上生活者や様々な理由で住まいを失った方々の支援をしてきましたが、支援する上で住居の確保が何よりも大変で、無料低額宿泊所を開設する前は、法人の運営する晴ヶ丘養護老人ホームが三沢市や十和田市と独自に契約している緊急時の特別な受け入れ事業により一床の空き室を活用しながら、何とかしたい一心で日々奔走していた」と当時のことを感慨深げに振り返ります。



今後について

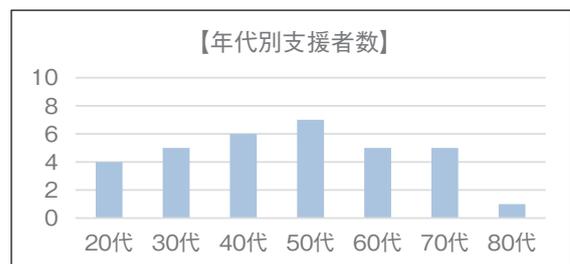
佐々木施設長は「年齢や性別、障がい者や母子世帯などいろいろなタイプの方が入所します。限られた時間で行う面談では本人のことを十分に把握できないこともあり、入所後に初めてわかることもあります。その方にあった寄り添いができれば」と話してくれました。

中川さんは「保健・福祉・医療など地域の社会資源と官民を問わずお互いに顔の見える関係にあるため連携しやすい。また、地域の方々には困ったことがあるとお互いに助け合う意識を持っていると思う。これからは施設を安定的に運営するためにも経営的なことも考えていきたい」と話してくれました。

小原さんは「無料低額宿泊所と居住支援法人、地域の社会資源が互いに連携しながら、これまで以上に支援の幅を広げていきたい」と話してくれました。

暮らしサポートセンター・三沢の支援実績

高齢者や障がい者、子育て世帯など、令和6年11月現在で33人（延べ人数）の方々を受け入れています。33人中、9人が女性でその内、2人が母子世帯です。全体の約7割の方が生活保護を受給しています。



私たち青森県社会福祉協議会は、住民が支え合い、だれもがその人らしく安心して暮らす地域づくりを目指して、福祉を支える方々を支援すること、福祉の魅力を伝えることなどに様々な方と協働しながら取り組んでいます。

この想いと取り組みを弘前市出身、平川市在住のアーティストGOMAさんがクリアファイルにデザインしてくださいました。

このクリアファイルは令和6年10月23日に開催した青森県社会福祉大会で、参加者である福祉関係者に配布し、参加者は青森県のより良い未来への思いを強くしました。

アーティスト GOMA

メッセージ
message

人々が、年齢・性別などを問わず、

手を取り合って生きていくこと、

青森県の明るく華やかな未来を願い作成しました。

人はどんな時でも、一人では生きてはいけません。

皆様の小さな優しさと思いやりが、明るい未来を作ります。

「誰かが」ではなく、「貴方が」この青森を

より良い未来へと変えていくのです。

一緒に頑張りましょう。



作成したクリアファイルは大会の参加者800人に配布しました！



ARTIST GOMAのご紹介

弘前市で保育士として3年勤務した後、秋田公立美術工芸短期大学に入学。卒業後、本格的にアーティスト活動を開始。青森県が発展するように願い、国内外の有名企業とのコラボレーションやGOMA展の開催などを行う。さらに、全国の特別支援学校等でワークショップを行うなど、子どもたちに夢を与える活動に力を注いでいる。ADHD（注意欠陥・多動症）とディスレクシア（発達性読み書き障がい）という2つの発達障がいを持つアーティスト。

がんの超早期発見は、早期検査から。

世界初 がんのリスク早期発見サービス



尿1滴で全身15種類のがんリスクも判定



コスト＆手間の軽減で **業務効率UP!** 充実の商品ラインナップでサポート **約20,000円**

介護施設で働くすべての皆さまをお手伝い！



CMでおなじみ 世界最強レベルの空気清浄機

株式会社ヒグチで



販売中

治癒
見
年
明

お届けしたいのは 期待を超える価値と笑顔です

HIGUCHI

株式会社ヒグチ

青森市問屋町一丁目15-22 ☎017-738-3661
八戸市下長四丁目5-4 ☎0178-38-8411

